FUJIFILM

JP

instax WIDE 400

INSTANT CAMERA

使用説明書/安全にご使用いただくために

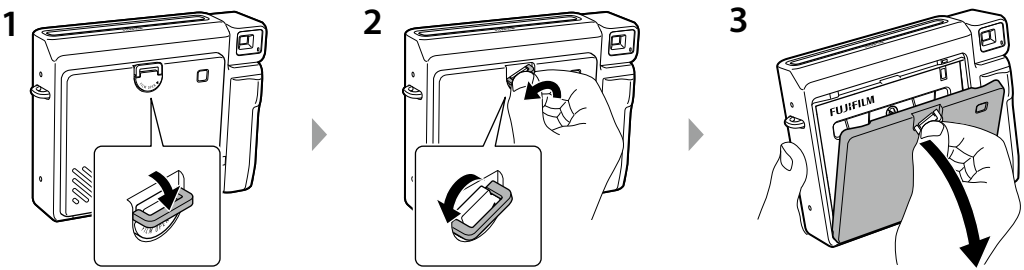
FI027-JP-02

フィルムパックの取り扱いに関する注意

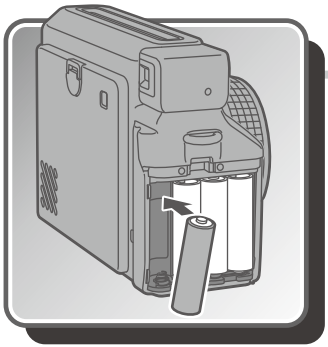
JP フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

© 2024 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

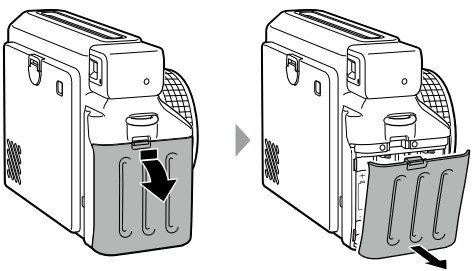
フィルムドアの開け方



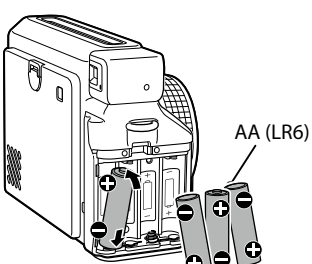
1.ノブを手前に倒します。
2.ノブを回すと、「斜めの位置」で止まります。
　※破損する可能性があるので、無理な力を加えて回さ
　　ないでください。
3.手前に引くと、フィルムドアが開きます。



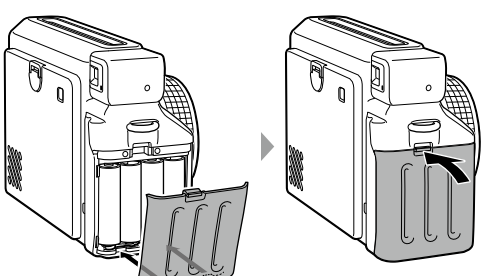
1

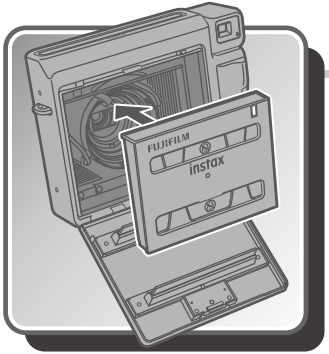


2

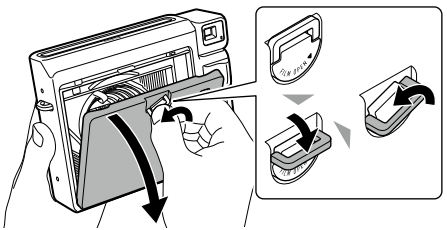


3

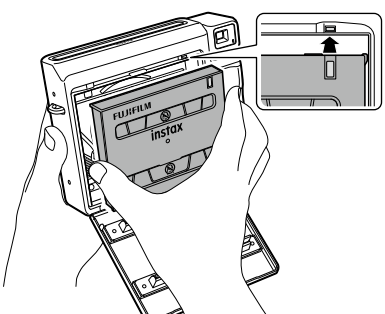




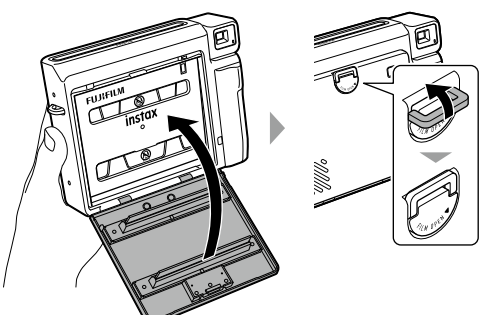
1



2



3



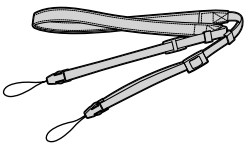
- 撮影方法については日本語のページを参照してください(11ページ)。

カメラをお使いになる前に

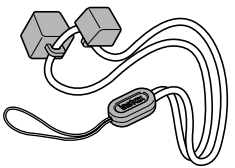
カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

- ショルダーストラップ（1 本）



- カメラ角度調整アクセサリー（1 本）

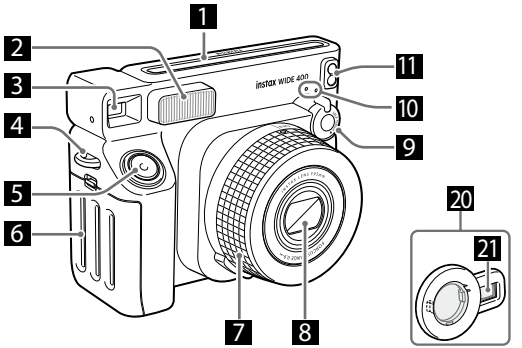


- 単 3 形アルカリ電池（LR6）（4 本）
- 使用説明書（本書）
- 接写レンズ（1 枚）

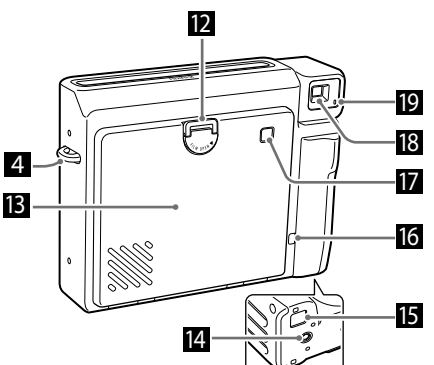
本書は本製品の基本的な使いかたや使用上の注意事項について説明しています。

各部の名称

前面



背面

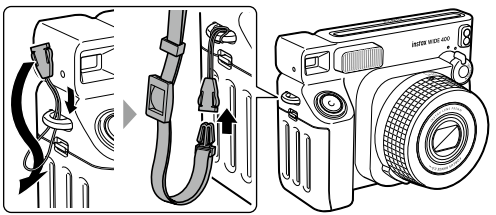


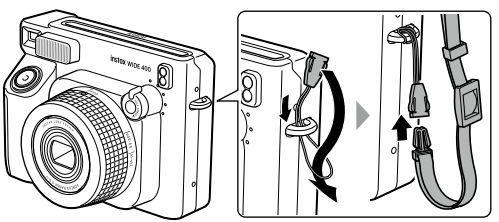
1 フィルム排出口
2 フラッシュ発光部
3 ファインダー
4 ストラップフック
5 シャッターボタン
6 電池ぶた
7 レンズリング / 電源
8 レンズカバー / 撮影レンズ
9 セルフタイマーレバー
10 セルフタイマーランプ
11 受光センサー（AE 受光部 / フラッシュ受光部）
12 フィルムドアノブ
13 フィルムドア
14 三脚穴（三脚は別売り）
15 カメラ角度調整アクセサリー設置部
16 フィルムカウンター
17 フィルム確認窓
18 ファインダー接眼部
19 フラッシュ充電ランプ
20 接写レンズ（同梱品）
21 セルフィーミラー

ストラップを取り付ける

ショルダーストラップを取り付けるには

以下のイラストのように取り付けてください。

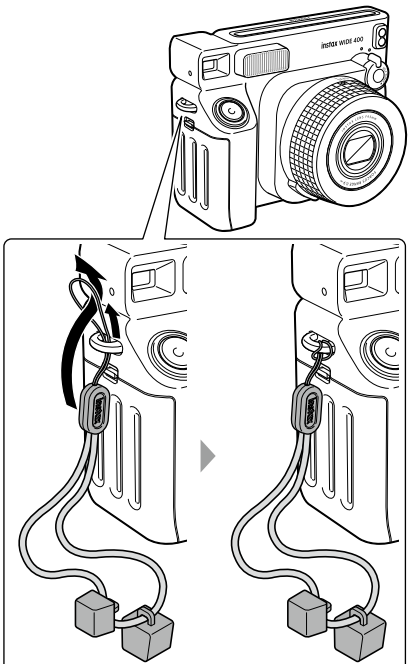




- ショルダーストラップは肩にかけて使用し、首にはかけないでください。
- ストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

カメラ角度調整アクセサリーを取り付けるには

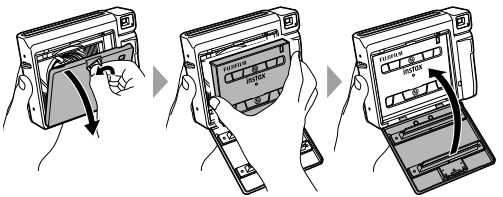
以下のイラストのようにシャッターボタン側のフックに取り付けてください。
カメラ角度調整アクセサリーは簡易台座としても使用できます (16 ページ)。



撮影の準備をする

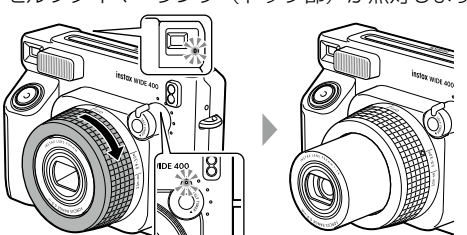
1 フィルムパックをカメラに入れる

フィルムパックの詳しい入れかたについては、5 ページをご覧ください。



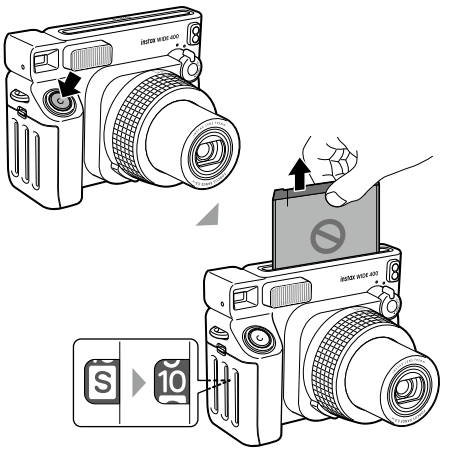
2 レンズリングを以下の位置（近距離用：「0.9 – 3.0m」/ 遠距離用:「3.0m – ∞」）まで回す

レンズ部が繰り出され、カメラの電源が入ります。セルフタイマーランプ（トップ部）が点灯します。



3 シャッターボタンを押す

フィルムパックのフィルムカバーが排出されます。フィルムカバーを排出する音が止まったら、送り出されたフィルムカバーの先端を持って取り出してください。



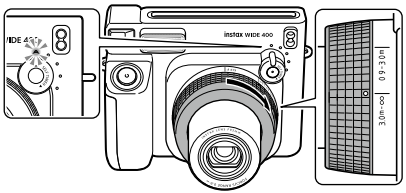
フィルムを使い切るまで（カウンターが「0」になるまで）、フィルムパックを取り出さないでください。フィルムが感光して、使用できなくなります。

撮影する

接写レンズを使うときは、13 ページをご覧ください。

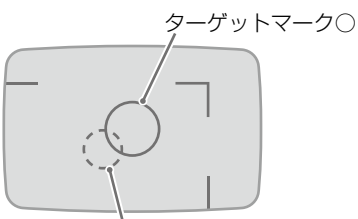
1 レンズリングを以下の位置（近距離用：「0.9 – 3.0m」/ 遠距離用：「3.0m – ∞」）まで回す

レンズ部が繰り出され、カメラの電源が入ります。セルフタイマーランプ（トップ部）が点滅（フラッシュ充電中）から点灯に変わると撮影準備が完了します。



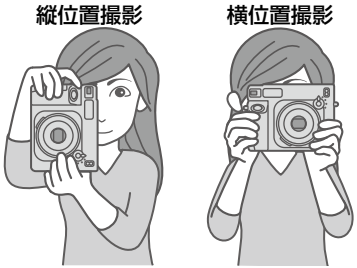
2 カメラを構え、構図を決める

ファインダー内のターゲットマーク○が中央に見えるように、正面からのぞいてください。



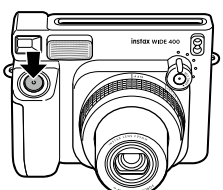
◌：接写レンズを取り付けているときのターゲットマーク

接写については、13 ページをご覧ください。



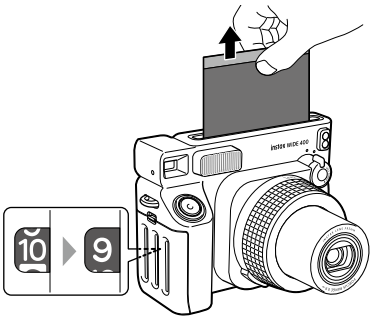
- 縦位置撮影では、フラッシュ発光部が上になるように構えてください。
- 指やショルダーストラップ、カメラ角度調整アクセサリーがフラッシュ発光部、受光センサー、レンズ、フィルム排出口に掛からないように注意してください。

3 シャッターボタンを押して、撮影する



- シャッターボタンを押すときは、レンズに触れないように注意してください。
- フラッシュ充電中はシャッターボタンを押すことはできません。

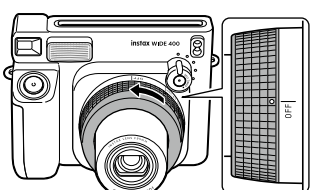
4 フィルムを排出する音が止まったら、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



- フィルムの現像時間は約 90 秒です（気温によって時間は変動します）。

5 撮影が終わったら、レンズリングを「OFF」の位置まで戻す

レンズ部が収納され、カメラの電源が切れます。

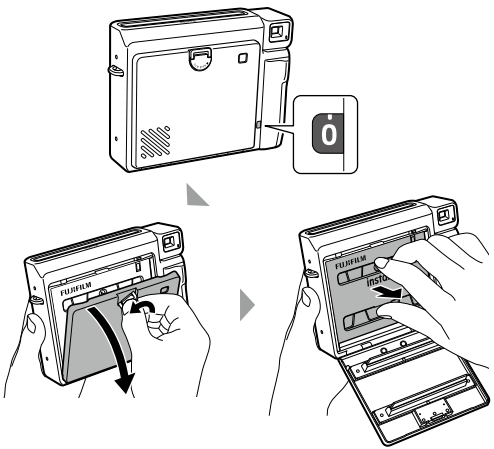


- カメラが誤作動した場合は、電源を入れた状態で電池をいったん取り出し、入れ直してください。
- 電源を入れたまま約 5 分間放置すると、電源は自動的に切れます。

フィルムパックを取り出す

撮影するごとにフィルムカウンターが「10」から減っていき、最後の 1 枚を撮り終えると「0」が表示されます。

カウンターが「0」になったら電源を切って、フィルムパックを取り出してください。



フィルムを使い切るまで（カウンターが「0」になるまで）、フィルムパックを取り出さないでください。フィルムが感光して、使用できなくなります。

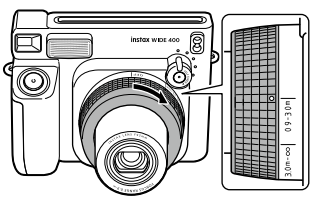
接写レンズを使う

被写体に近づいて大きく撮影したり、セルフィーミラーを使用して、自分自身を撮影することができます。

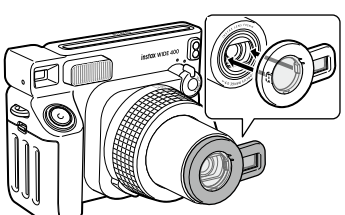
接写レンズを取り付けるには

1 レンズリングを「0.9 – 3.0m」の位置まで回す

レンズが前面に繰り出されます。

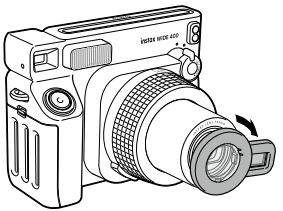


2 セルフィーミラーがシャッターボタンの反対側になるようにして、接写レンズを真っ直ぐにはめ込む



接写レンズを取りはずすには

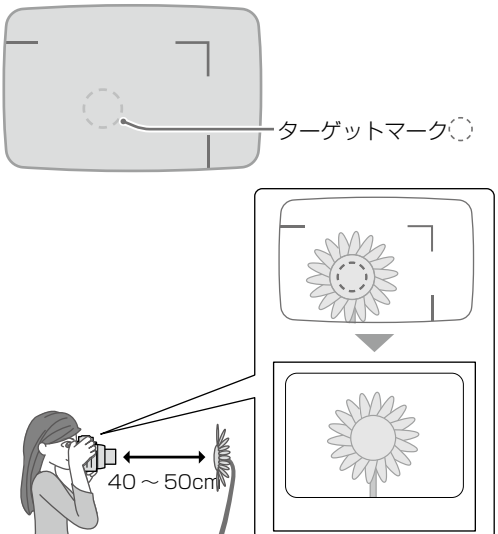
セルフィーミラーの裏側を持って、取りはずしてください。



接写するには

1 カメラを構え、構図を決める

接写のときは、点線のターゲットマークが被写体の中心にくるように撮影してください。

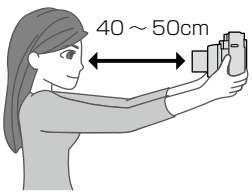


2 シャッターボタンを押して、撮影する

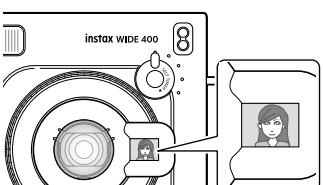
自分自身を撮影するには

接写レンズのセルフィーミラーで、構図を確認しながら撮影することができます。

1 しっかりとカメラを持って、レンズの先から 40cm ～ 50cm になるように構える



2 セルフィーミラーで構図を確認して撮影する

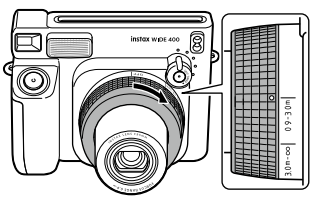


セルフタイマーを使う

セルフタイマーを使って集合写真や自撮り撮影ができます。セルフタイマーの時間は、「4 秒」、「6 秒」、「8 秒」、「10 秒」から選ぶことができます。

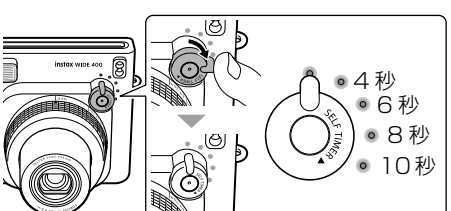
1 レンズリングを以下の位置（近距離用：「0.9 – 3.0m」/ 遠距離用：「3.0m – ∞」）まで回す

レンズ部が繰り出され、カメラの電源が入ります。



2 セルフタイマーレバーを回してセルフタイマーの時間を選ぶ

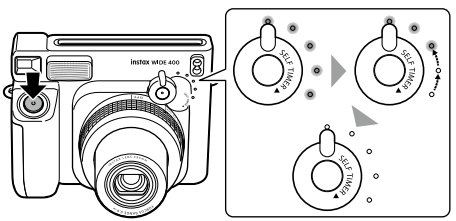
セルフタイマーレバーを回すと、ランプが順番に点灯します。設定したい時間のランプが点灯したら、レバーから指を離してください。



- 途中で指を離しても、もう 1 度レバーを回すことで、時間を選び直すことができます。
  ※ 時間の延長のみ可能です。

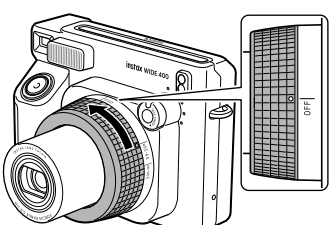
3 シャッターボタンを押して、撮影する

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが明るくなり、カメラからタイマー音が鳴ります。2 秒ごとにランプが消灯し、カウントダウンが始まります。すべてのランプが消灯すると、自動でシャッターが切れます。



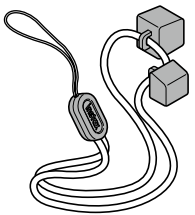
セルフタイマーをキャンセルするときは

レンズリングを「OFF」の位置まで戻してください。

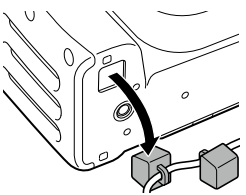


カメラ角度調整アクセサリーを使う

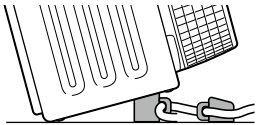
付属のカメラ角度調整アクセサリーはカメラの台座として利用できます。カメラ角度調整アクセサリーには 2 つの台座があり、異なった角度調整が可能です。



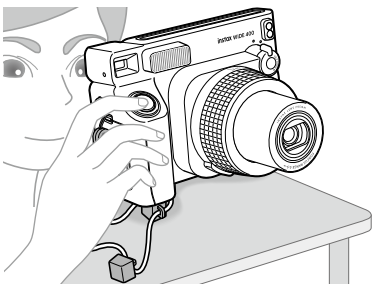
1 カメラ底面のカメラ角度調整アクセサリー設置部に、どちらかひとつの台座を設置する



- レンズの角度をつけるため、台座の高い側がレンズ側になるように設置してください。



2 シャッターボタンを押して、撮影する



- 通常の撮影、セルフタイマーなどの機能も問題なく利用できます。

撮影時の注意事項

カメラを構えるときの注意

正しい持ち方

フラッシュ発光部に指をかけない

受光センサーに指をかけない

- 指やショルダーストラップ、カメラ角度調整アクセサリーが受光センサー、フラッシュ発光部、レンズ、フィルム排出口に掛からないように注意してください。
- 横位置撮影では、フラッシュ発光部が上になるように構えてください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では使用しないでください。
- 構えるときはレンズ部を持たないでください。写真が正しく写らない場合があります。
- ファインダーをのぞくときは、ファインダー内の○（接写時は◌）が中央に見えるように、のぞいてください。
- シャッターボタンを押すときは、レンズに触れないように注意してください。

通常モードと接写モードの距離について

- 通常モードでは、撮影対象から 0.9m 以上離れて撮影してください。また、フラッシュの光が届く範囲は約 3m までです。
- 0.9m より被写体に近づく場合には、接写レンズをご使用ください。接写レンズを使用すると、40cm ～ 50cm の範囲で接近して撮影することができます。

セルフタイマーランプ（トップ部）の状態とエラー対処方法

セルフタイマーランプ（トップ部）の状態	説明
点灯	撮影準備ができています。
消灯	電源が切れています。
ゆっくりとした点滅	フラッシュが充電中です。セルフタイマーランプ（トップ部）が点灯するまでそのままお待ちください。
ゆっくりとした点滅と早い点滅が繰り返される	電池の電圧が不足しています。
早い点滅	何らかのエラーが発生しています。 • フィルムがつまっています。 • レンズリングの位置が正しくありません。 • その他のエラー

主なエラー内容	対処方法
電池の電圧が不足	新しい電池（アルカリ電池）に交換してください。
フィルムつまり	無理にフィルムを引き出さず、電池を取り外し、新しい電池（アルカリ電池）を入れ直してください。フィルムを排出できることがあります。
レンズリングの位置が正しくない	レンズリングを正しい位置にセットしてください。
その他	誤動作している可能性があります。電源を入れたまま、電池を一度取り外し、再度電池を入れ直してください。

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
●この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警　告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注　意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠警　告

⚠絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。

⚠落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり、けがや感電する原因となることがあります。

⚠カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になることがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

⚠自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

⚠カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になることがあります。

⚠引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になることがあります。

⚠電池の分解、加熱、火中への投入、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になることがあります。

⚠指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になることがあります。

⚠電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になることがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注　意

⚠故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずに、お買い上げ店にご相談ください。

⚠フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。

⚠カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。

⚠小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。

⚠本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

⚠フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

⚠電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。カメラの破損や電池の液もれにより周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとは「Conformité Européenne」の略)

■ **本製品が適合している規制関連の表示は、カメラのフィルムドアに表示してあります。**

取扱上のお願い

■ カメラの取り扱い

1. **フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。**
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
4. フィルム室に汚れやほこりがあると、写真の仕上がりに影響します。フィルム室に汚れやほこりがつかないようにご注意ください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. 防虫剤に含まれているガスは、カメラやフィルムに有害となる場合がありますので、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は＋5℃から＋40℃です。
8. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
9. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に撮影する用途には適しておりません。
10. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、スマートフォン用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
11. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
12. ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。

■ 出力中の注意事項

■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱い方については、富士フイルム インスタントフィルム「INSTAX WIDE」の箱に記載されている取扱説明を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く使用してください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。

6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いＸ線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします（詳しくは各空港でご確認ください）。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストに触れたときは、速やかに水で充分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約 10 分間でアルカリ性が弱まります。
10. 撮影した写真を密閉した袋など入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。
11. 現像中はフィルムに触れないでください。

■ **フィルムやできあがった写真を取り扱うときの注意**

詳細は、富士フイルム インスタントフィルム「INSTAX WIDE」の取扱説明を参照してください。

仕様

使用フィルム	富士フイルム インスタントカラーフィルム INSTAX WIDE
写真画面サイズ	62 mm × 99 mm
レンズ	沈胴式レンズ　2 群 2 枚構成 f = 95mm　1:14
ファインダー	実像式ファインダー 0.37 倍 / ターゲットマーク付き
撮影範囲	手動 2 点切り替え式 (0.9m ～ 3m/3m ～∞) 標準モード（0.9m ～ 3m） 遠景モード（3m ～∞）
シャッター	プログラム式電子シャッター 1/64 ～ 1/200 秒
露光調節	自動調節 連動範囲:LV10.5 ～ 15（ISO800）
フィルム送り出し	電動式
フィルム現像時間	約 90 秒（現像時間は気温によって変動します。）
フラッシュ	低輝度自動発光オートフラッシュ（自動調光） 充電時間:7 秒以下(新品電池使用時) フラッシュ撮影距離 0.9m ～ 3m
電源	単 3 形アルカリ電池（LR6）1.5 V 4 本 撮影可能枚数：約 10 パック（当社試験条件による） ＊付属の電池はお試し用の電池となります。電池切れの場合は、新しいアルカリ電池に交換してください。アルカリ電池の性能は、銘柄によって異なります。 ＊マンガン電池は使用できません。
オートパワーオフ時間	5 分間
その他	フィルムカウンター / フィルム確認窓付 三脚穴（三脚は別売り）
大きさ	162 mm × 98 mm × 123 mm
質量	616 g(電池、ストラップ、フィルム、接写レンズ別)

仕様・性能は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。
ご購入店または富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。
それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、購入店名の記入されたご購入日より 1 年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少違いますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常 7 ～ 10 日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ

富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口

0570-04-1640(ナビダイヤル)

● 修理に関するお問い合わせ

富士フイルム フィルムカメラ修理相談窓口

0570-06-6092(ナビダイヤル)

▶各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

▶富士フイルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

富士フイルムホームページ:https://www.fujifilm.com/jp/ja

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN